

結果の概要

1 出生

(1) 父母の就業状態・職業別にみた出生

父の就業状態別に平成27年度の嫡出出生数をみると、有職の父を有する子は92万4472人（全体の94.3%）、無職は1万1461人（同1.2%）となっている。

母の就業状態別に同年度の出生数をみると、有職の母を有する子は42万5110人（全体の42.4%）、無職は53万6758人（同53.5%）となっており、前回調査の平成22年度と比較すると、有職が31.0%から11.4ポイント上昇している。

父母の職業別に標準化出生率（人口千対）を平成27年度でみると、父は「専門・技術職」が48.5、母は「建設・採掘職」が42.0と高くなっている。（表1）

表1 父母の就業状態・職業別にみた出生数・出生率・標準化出生率 —平成22・27年度—

就業状態・職業	平成27年度				平成22年度			
	出生数 (人)	構成割合 (%)	出生率 (人口千対)	標準化 出生率 (人口千対)	出生数 (人)	構成割合 (%)	出生率 (人口千対)	標準化 出生率 (人口千対)
父								
総数	980 219	100.0	18.5	25.0	1 043 750	100.0	19.7	24.2
就業者総数（有職）	924 472	94.3	28.3	31.0	981 962	94.1	29.2	29.5
A 管理職	28 181	2.9	24.4	…	36 769	3.5	30.4	…
B 専門・技術職	251 798	25.7	52.4	48.5	249 794	23.9	55.4	49.4
C 事務職	113 369	11.6	25.4	28.6	122 444	11.7	27.9	28.6
D 販売職	110 034	11.2	26.6	26.0	125 105	12.0	27.2	24.5
E サービス職	101 597	10.4	47.4	45.8	109 665	10.5	50.0	45.2
F 保安職	35 644	3.6	35.1	34.1	33 123	3.2	33.0	31.4
G 農林漁業職	14 825	1.5	11.1	29.8	15 316	1.5	10.6	30.3
H 生産工程職	110 505	11.3	20.0	19.5	123 594	11.8	21.0	19.1
I 輸送・機械運転職	32 368	3.3	16.8	31.1	41 565	4.0	20.6	33.0
J 建設・採掘職	81 695	8.3	32.6	45.3	78 244	7.5	30.1	36.9
K 運搬・清掃・包装等職	20 077	2.0	9.9	11.9	21 226	2.0	11.0	12.0
L 職業不詳	24 379	2.5	…	…	25 117	2.4	…	…
無職	11 461	1.2	0.7	3.3	17 222	1.7	1.1	3.8
不詳	44 286	4.5	…	…	44 566	4.3	…	…
母								
総数	1 003 169	100.0	17.7	27.5	1 066 784	100.0	18.8	26.3
就業者総数（有職）	425 110	42.4	16.7	18.1	330 477	31.0	13.2	13.0
A 管理職	5 137	0.5	22.9	…	4 917	0.5	25.3	…
B 専門・技術職	151 213	15.1	33.8	28.2	117 371	11.0	29.1	22.0
C 事務職	129 262	12.9	19.3	18.5	103 673	9.7	15.9	13.1
D 販売職	32 878	3.3	10.2	10.6	25 329	2.4	7.6	7.4
E サービス職	65 135	6.5	14.1	17.5	45 073	4.2	9.9	11.3
F 保安職	2 941	0.3	43.2	32.6	2 487	0.2	41.6	28.6
G 農林漁業職	4 194	0.4	5.3	25.6	3 907	0.4	4.5	25.9
H 生産工程職	16 272	1.6	7.4	10.2	13 828	1.3	5.9	7.9
I 輸送・機械運転職	1 552	0.2	23.0	29.5	1 456	0.1	24.1	24.8
J 建設・採掘職	1 911	0.2	31.2	42.0	1 566	0.1	28.8	40.5
K 運搬・清掃・包装等職	1 717	0.2	0.9	2.2	1 140	0.1	0.7	1.5
L 職業不詳	12 898	1.3	…	…	9 730	0.9	…	…
無職	536 758	53.5	19.6	59.8	693 903	65.0	24.5	57.9
不詳	41 301	4.1	…	…	42 404	4.0	…	…

注：父については嫡出子を対象としている。

(2) 父母の就業状態・職業、出生順位別にみた出生

母の就業状態別に出生順位別の出生数を平成27年度でみると、有職の母を有する第1子は21万7646人（第1子全体の45.8%）となっており、前回と比較すると、34.5%から11.3ポイント上昇している。職業別に構成割合の前回からの変化をみると、「専門・技術職」が4.0ポイント、「事務職」が3.2ポイント上昇している。

同様に、平成27年度で有職の母を有する第2子及び第3子の割合は、それぞれ39.7%、38.4%となっており、子どもが増えるに従って有職の割合は低下している。（表2）

表2 父母の就業状態・職業、出生順位別にみた出生数及び構成割合 —平成22・27年度—

父あるいは母の 就業状態・職業	平成27年度				平成22年度			
	父		母		父		母	
	嫡出生数 (人)	構成割合 (%)	出生数 (人)	構成割合 (%)	嫡出生数 (人)	構成割合 (%)	出生数 (人)	構成割合 (%)
第1子								
総数	461 992	100.0	475 671	100.0	492 482	100.0	505 722	100.0
就業者総数（有職）	434 358	94.0	217 646	45.8	462 032	93.8	174 558	34.5
A 管理職	11 985	2.6	2 353	0.5	15 462	3.1	2 152	0.4
B 専門・技術職	125 147	27.1	77 953	16.4	124 406	25.3	62 819	12.4
C 事務職	55 776	12.1	69 043	14.5	58 944	12.0	57 110	11.3
D 販売職	53 659	11.6	17 702	3.7	61 383	12.5	13 632	2.7
E サービス職	49 642	10.7	31 678	6.7	54 880	11.1	22 719	4.5
F 保安職	16 272	3.5	1 522	0.3	15 773	3.2	1 357	0.3
G 農林漁業職	5 821	1.3	1 173	0.2	6 325	1.3	1 217	0.2
H 生産工程職	49 037	10.6	7 341	1.5	55 568	11.3	6 563	1.3
I 輸送・機械運転職	13 270	2.9	822	0.2	16 735	3.4	787	0.2
J 建設・採掘職	33 547	7.3	744	0.2	31 701	6.4	646	0.1
K 運搬・清掃・包装等職	8 520	1.8	555	0.1	9 008	1.8	396	0.1
L 職業不詳	11 682	2.5	6 760	1.4	11 847	2.4	5 160	1.0
無職	6 280	1.4	237 466	49.9	9 297	1.9	310 445	61.4
不詳	21 354	4.6	20 559	4.3	21 153	4.3	20 719	4.1
第2子								
総数	358 430	100.0	362 931	100.0	383 693	100.0	388 279	100.0
就業者総数（有職）	339 164	94.6	144 258	39.7	362 445	94.5	107 025	27.6
A 管理職	10 448	2.9	1 740	0.5	14 128	3.7	1 735	0.4
B 専門・技術職	92 441	25.8	52 345	14.4	90 818	23.7	38 901	10.0
C 事務職	42 843	12.0	44 309	12.2	46 874	12.2	33 335	8.6
D 販売職	40 592	11.3	10 216	2.8	46 105	12.0	7 490	1.9
E サービス職	35 695	10.0	21 212	5.8	38 241	10.0	14 123	3.6
F 保安職	13 240	3.7	1 006	0.3	11 954	3.1	810	0.2
G 農林漁業職	5 231	1.5	1 518	0.4	5 417	1.4	1 347	0.3
H 生産工程職	41 675	11.6	5 706	1.6	47 208	12.3	4 731	1.2
I 輸送・機械運転職	11 946	3.3	500	0.1	15 643	4.1	424	0.1
J 建設・採掘職	28 673	8.0	641	0.2	28 756	7.5	507	0.1
K 運搬・清掃・包装等職	7 266	2.0	572	0.2	7 831	2.0	383	0.1
L 職業不詳	9 114	2.5	4 493	1.2	9 470	2.5	3 239	0.8
無職	3 232	0.9	204 340	56.3	4 984	1.3	266 390	68.6
不詳	16 034	4.5	14 333	3.9	16 264	4.2	14 864	3.8
第3子以上								
総数	159 797	100.0	164 567	100.0	167 575	100.0	172 783	100.0
就業者総数（有職）	150 950	94.5	63 206	38.4	157 485	94.0	48 894	28.3
A 管理職	5 748	3.6	1 044	0.6	7 179	4.3	1 030	0.6
B 専門・技術職	34 210	21.4	20 915	12.7	34 570	20.6	15 651	9.1
C 事務職	14 750	9.2	15 910	9.7	16 626	9.9	13 228	7.7
D 販売職	15 783	9.9	4 960	3.0	17 617	10.5	4 207	2.4
E サービス職	16 260	10.2	12 245	7.4	16 544	9.9	8 231	4.8
F 保安職	6 132	3.8	413	0.3	5 396	3.2	320	0.2
G 農林漁業職	3 773	2.4	1 503	0.9	3 574	2.1	1 343	0.8
H 生産工程職	19 793	12.4	3 225	2.0	20 818	12.4	2 534	1.5
I 輸送・機械運転職	7 152	4.5	230	0.1	9 187	5.5	245	0.1
J 建設・採掘職	19 475	12.2	526	0.3	17 787	10.6	413	0.2
K 運搬・清掃・包装等職	4 291	2.7	590	0.4	4 387	2.6	361	0.2
L 職業不詳	3 583	2.2	1 645	1.0	3 800	2.3	1 331	0.8
無職	1 949	1.2	94 952	57.7	2 941	1.8	117 068	67.8
不詳	6 898	4.3	6 409	3.9	7 149	4.3	6 821	3.9

注：出生順位とは、同じ母がこれまでに生んだ出生子の総数について数えた順序である。

(3) 父母の就業状態・職業別にみた第1子の父母の平均年齢

父母の就業状態別に第1子が生まれたときの父母の平均年齢を平成27年度でみると、父は有職が32.8歳、無職が31.0歳、母は有職が31.5歳、無職が29.9歳となっている。

(前回は、父は有職が32.0歳、無職が30.3歳、母は有職が30.9歳、無職が29.4歳)

同様に、父の職業別に第1子が生まれたときの父の平均年齢をみると、「管理職」が37.6歳で最も高く、「建設・採掘職」が30.5歳で最も低くなっている。

また、母の職業別に第1子が生まれたときの母の平均年齢をみると、「管理職」が33.8歳で最も高く、「保安職」が29.4歳で最も低くなっている。(表3)

表3 父母の就業状態・職業別にみた出生順位第1子の父母の平均年齢

—平成22・27年度—
(歳)

父あるいは母の 就業状態・職業	平成27年度		平成22年度	
	父	母	父	母
総 数	32.8	30.7	32.0	30.0
就業者総数(有職)	32.8	31.5	32.0	30.9
A 管理職	37.6	33.8	36.8	33.2
B 専門・技術職	33.4	31.5	32.7	31.0
C 事務職	33.7	32.3	33.2	31.7
D 販売職	32.9	31.0	32.0	30.3
E サービス職	32.3	30.3	31.0	29.8
F 保安職	30.9	29.4	30.3	29.1
G 農林漁業職	32.4	31.5	31.2	30.1
H 生産工程職	31.5	29.5	30.6	29.0
I 輸送・機械運転職	33.1	31.0	32.0	30.3
J 建設・採掘職	30.5	31.6	30.4	31.0
K 運搬・清掃・包装等職	32.1	30.4	30.8	29.8
無 職	31.0	29.9	30.3	29.4

注：1) 出生順位とは、同じ母がこれまでに生んだ出生子の総数について数えた順序である。

2) 父については嫡出子を対象としている。

3) 総数には就業状態不詳が、就業者総数(有職)には職業不詳が含まれる。